計算センター

研究室における無線 LAN アクセスポイント設置ガイドライン

目的

無線 LAN のアクセスポイントは正しく設定しないと、干渉による速度低下や、不正アクセスの元凶になるため、ガイドラインを設置します。

無線チャンネル

802.11b 及び 11g（2.4GHz 帯）

設定してよいチャンネル：　１、６、１１

設定してはいけないチャンネル：　２、３、４、５、７、８、９、１０、１２、１３

802.11a（5.2GHz 帯）

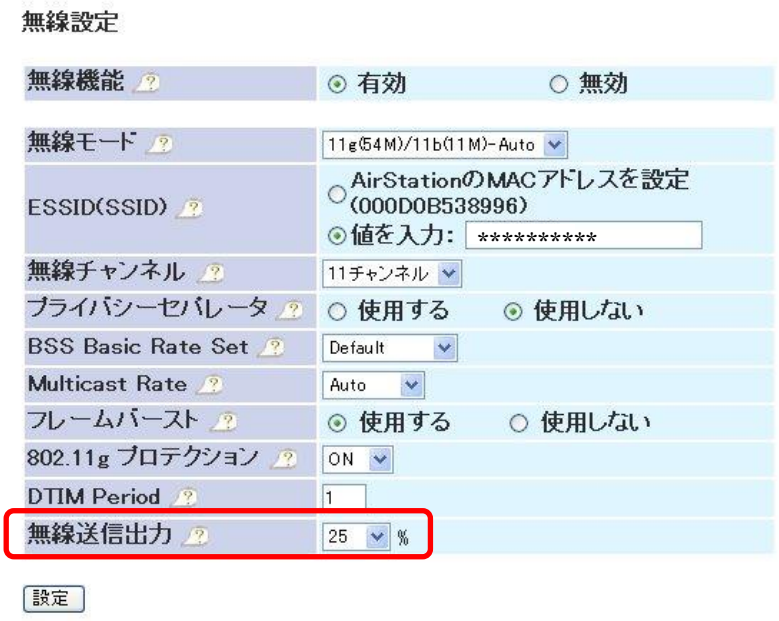
設定してよいチャンネル：　３６、４０、４４、４８、５２、５６、６０、６４

設定してはいけないチャンネル：　なし

無線送信電力

無線送信電力：　最小にする

最近の無線LAN機器の場合､送信する電波の強度を調整できるものが多いです｡電波は､思ったより遠くまで届きます。研究室で設置する場合、無線送信電力は最小にしてください。



ESSID(SSID)

ESSID：　建物名＋部屋番号　　もしくは　建物名＋研究室名

例：　8-301　　8-itoh-lab

トラブル発生時に、何処に設置しているか分かるようにするため、上記のようにして下さい。

また、ESSID（SSID）を外部から見えない状態での運用は禁止します。

暗号化

暗号化：　WPA2-PSK か WPA-PSK を使用してください。

WEP は出来る限り使用しないでください。

暗号化を行わないと誰でも通信を傍受できてしまいますので、必ず暗号化を行ってください。

